



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月5日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,778	2.2	63	△46.7	69	△43.4	36	△47.7
2019年3月期第2四半期	8,586	△2.0	118	△12.0	122	△23.8	70	10.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2020年3月期第2四半期	17	61	—	—				
2019年3月期第2四半期	33	67	—	—				

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,950	4,512	30.2
2019年3月期	14,557	4,502	30.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,512百万円 2019年3月期 4,502百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2019年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	17,800	2.3	150	48.4	150	42.1	80	354.9	38.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	2,103,948株	2019年3月期	2,103,948株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	10,048株	2019年3月期	9,945株
------------	---------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	2,093,963株	2019年3月期2Q	2,094,069株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
3. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国の経済環境は、雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しましたが、消費税率引上げや海外景気の減速など先行きの不透明感により個人消費は弱さを含む状況となりました。北海道の経済環境は、観光客数の回復もあり一部持ち直しの動きがみられるものの、全体としては足踏み状態となっています。当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激化する市場環境のもと、人手不足に伴う人件費や物流費などのコスト上昇に加え、原材料価格及びエネルギーコストの高止まりにより収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品の品質向上を推進し、多様化するお客様のニーズに即した安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務の見直しや効率化を推し進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、主力の「絹艶」は、試食販売やレシピ動画を活用するなどの販売促進活動により拡販に努め順調に推移しましたが、昨年発売した「プレミアデニッシュ」シリーズが伸び悩み、売上減となりました。菓子パン部門は、主力の「北の国のベーカリー」が発売20周年を迎え、9月には一部製品をリニューアルするとともに科学的根拠に基づいて消費期限の延長を図り、好調な売上となりました。また「ずっしり」シリーズ、フィリングたっぷりの新こっぺぱんシリーズ「ずっしりこっぺ」の寄与もあり前年同期を上回りました。和菓子部門は、ロングライフ製品の「べこ餅」などの和生類が伸長し、また6月から消費期限延長に取り組んだ串団子も回復傾向となりましたが、季節商品やまんじゅう類等が落ち込み、前年同期の売上を下回りました。洋菓子部門は、タルトやマフィンなどのスナックケーキ類が好調に推移したほか、コンビニエンスストア向け製品の拡販により、前年同期の売上を上回りました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの弁当や寿司、コンビニエンスストア向けのサンドイッチを積極的に拡販し、順調な売上となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は8,778百万円(対前年同期比102.2%)となりました。一方、利益面におきましては、賃金相場の上昇や人手不足に伴う人件費の増加、エネルギーコスト、原材料費の上昇及びデリカ工場の減価償却費負担増もあり、営業利益は63百万円(対前年同期比53.3%)、経常利益は69百万円(対前年同期比56.6%)、四半期純利益は36百万円(対前年同期比52.3%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は14,950百万円で前事業年度末に対し392百万円増加しました。流動資産は4,885百万円で主に現金及び預金が849百万円増加し、売掛金が443百万円減少した結果、前事業年度末に対し377百万円増加しました。固定資産は10,065百万円で主に有形固定資産が1百万円、投資その他の資産のうち投資有価証券が14百万円増加した結果、前事業年度末に対し15百万円の増加となりました。負債合計は10,438百万円で主に支払手形及び買掛金が93百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が282百万円増加した結果、前事業年度末に対し382百万円増加しました。純資産合計は4,512百万円で主に利益剰余金が5百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円増加した結果、前事業年度末に対し10百万円増加しました。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は30.2%、1株当たりの純資産は2,155円1銭となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得の改善が下支えする一方で、消費税率引上げの影響や世界景気の減速感の強まりにより、お客様の生活防衛意識は高まることが予測されます。当業界におきましては、人手不足に伴う人件費・物流コストの増加やエネルギーコスト、原材料費の高止まりにより厳しい経営状況が継続するものと思われま

す。このような情勢下におきまして、当社は、引き続き「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とする主力製品の品質の向上と消費期限の見直しを進め、多様化するニーズに即した付加価値の高い製品の提供に努めてまいります。また、アイテム数を適正にコントロールし、効果的な販売促進による売上向上に取り組んでまいります。パン・菓子部門におきましては、付加価値を高めた製品の開発や、魅力ある製品の情報発信を継続するとともに、北海道産原料を活用した製品やロングライフ製品・チルド製品を積極的に開発し、売上拡大に向けて未取引の販売先や新たなチャネル・市場の開拓を推し進めてまいります。調理パン・米飯類におきましては、高品質な製品の効率的な生産に努めるとともに、ライフスタイルが多様化する市場環境において拡大が見込まれる中食需要に応える製品群を開発し、売上向上をめざしてまいります。今後とも生産・販売一体となり市場動向に即した製品施策と営業戦略を展開しつつ、迅速な製品開発体制により新しい価値と新しい需要の創造に取り組んでまいります。また、省人・省力化設備の導入や、生産工程と人員管理の強化、エネルギー使用量の削減及び配送ルート見直しによる配送効率の改善など、全社を挙げて業務効率化を推し進めてコスト削減に努め、山積する経営課題に着実に対処し収益体質の抜本的な改善をはかってまいります。

なお、2020年3月期通期に関する業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績動向を考慮し、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,723,040	2,572,852
受取手形及び売掛金	2,400,213	1,956,825
商品及び製品	42,124	47,324
仕掛品	22,874	20,231
原材料及び貯蔵品	193,704	200,869
その他	126,544	87,651
貸倒引当金	△490	△201
流動資産合計	4,508,010	4,885,555
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,670,928	2,624,535
機械及び装置(純額)	1,597,467	1,592,164
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	239,008	291,892
有形固定資産合計	9,169,810	9,170,997
無形固定資産		
その他	61,933	59,914
無形固定資産合計	61,933	59,914
投資その他の資産		
投資有価証券	536,338	550,761
投資不動産(純額)	66,480	66,457
繰延税金資産	172,092	164,451
その他	43,969	53,289
貸倒引当金	△720	△719
投資その他の資産合計	818,161	834,241
固定資産合計	10,049,904	10,065,153
資産合計	14,557,915	14,950,708

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,025,269	2,118,465
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	811,112	828,536
未払法人税等	33,781	54,114
賞与引当金	176,682	189,741
その他	1,030,789	1,014,546
流動負債合計	4,827,634	4,955,403
固定負債		
長期借入金	2,362,148	2,627,280
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,601,275	1,588,589
役員退職慰労引当金	69,516	71,170
その他	4,430	5,310
固定負債合計	5,227,949	5,482,929
負債合計	10,055,583	10,438,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	588,898	594,352
自己株式	△13,332	△13,537
株主資本合計	1,627,539	1,632,789
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	180,451	185,245
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,874,791	2,879,586
純資産合計	4,502,331	4,512,376
負債純資産合計	14,557,915	14,950,708

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,586,334	8,778,091
売上原価	6,116,567	6,329,497
売上総利益	2,469,767	2,448,593
販売費及び一般管理費		
販売費	1,949,055	1,997,320
一般管理費	401,723	387,847
販売費及び一般管理費合計	2,350,779	2,385,168
営業利益	118,988	63,425
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	8,014	8,567
受取賃貸料	5,528	5,427
受取保険金	2,100	5,173
その他	4,539	2,938
営業外収益合計	20,193	22,115
営業外費用		
支払利息	16,771	16,304
その他	52	0
営業外費用合計	16,824	16,304
経常利益	122,357	69,236
特別利益		
固定資産売却益	1,088	898
特別利益合計	1,088	898
特別損失		
固定資産売却損	-	1,131
固定資産除却損	8,906	2,116
減損損失	29	22
特別損失合計	8,936	3,270
税引前四半期純利益	114,509	66,864
法人税等	44,000	30,000
四半期純利益	70,509	36,864

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

## 販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前第2四半期累計期間(千円)	当第2四半期累計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,402,932	1,371,359	97.75
菓子パン	3,140,296	3,187,341	101.50
和菓子	1,677,740	1,621,243	96.63
洋菓子	354,471	384,835	108.57
調理パン・米飯類	1,789,651	1,995,919	111.53
その他(仕入商品)	221,241	217,392	98.26
合計	8,586,334	8,778,091	102.23

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。